

# YELL ~エール~

私などの青春時代には携帯電話などというシロモノはありませんでしたから、待ち合わせするにも「どこに何時」をしっかりと打ち合わせないといけないし、何より自分の都合で遅れたりしたら相手の顔を見るなり平謝りしたものです。調べたいものがあれば辞書や本を探し、人に聞いたりして情報を集めるしかありませんでした。それが今や「オッケー！グー・オー！」一発。便利な時代になったものです。

\*\*\*\*\*

例えば「自動車」－無くても人は生きていけるけれど、その便利さを知ってしまった私たちの生活には、無くてはならないといっても過言ではありません。でも使い方を間違えば人の命すら奪う凶器となります。

「携帯電話（スマホ）」もしかり。使う場所や使い方を間違えば人を傷つける道具にもなり得ます。迷惑極まりないものにもなり得ます。そこには社会で生きる人たちの「知恵」と「理性」がマナーとして守られ、それを「便利なもの」でいさせてくれるのです。全世界に通じるインターネットという回線に簡単につながってしまうケータイ・スマホで、人を傷つけるようなことや個人情報を簡単にあげてしまっっては取り返しのつかないこととなります。

人が大勢行きかう商店街の中を車が疾走すればどうなりますか？もし幸い誰も怪我をしなかったとしてもとても迷惑だし、そんな人に車を運転してほしいですよね。

みんなが勉強する「学校」という場所でケータイ・スマホをコソコソ使ってしまう、カッコ悪いと思います。それはある意味、学校のルールを知らながら使ってしまう「スマホ依存症」に通じると思います。問題は先生に見つかるか見つからないかではありません。便利さゆえ自分の衝動を抑えられないあなたの弱さが問題なのです。ケータイ・スマホの使用に関して制限がかかるのは、なにも学校だけではないのです。その度に、ルールやモラルからコソコソ隠れて使うのですか？それでは「便利」なはずのスマホに、あなたが支配されているのではありませんか？

\*\*\*\*\*

先日から1年次の中でケータイの使用に関する指導が何件か続いています。今一度、あなたのケータイ・スマホの使い方を見直してみませんか？学校の中にはケータイ・スマホの中にはない素敵なのが沢山あふれていますよ。大切なものを見逃していませんか？

ルール、モラルをちゃんと守っている人が大半であることは勿論わかっています。その人たちが18期生を支えてくれていることも、よくわかっています。ただ、一部の人の言動が年次全体の雰囲気や壊してしまうこともあるので、全ての人に自分のこととして受け止めてほしいと思います。

## 【保健ホームルーム】

### 「いのち—たいせつな生と性」

(マナ助産院 田口紗緒里先生)

去る10月26日、性教育講演会として田口先生にお話をいただきました。総合学科の学びも性教育で考えることも「生き方」につながります。

感想文を読ませてもらって、思わず涙が溢れそうになるほど諸君の純粹さにも感動しました。とても大切な勉強をさせてもらいましたね。田口先生に改めて感謝です。



### ～生徒感想文より（抜粋）～

・一つの命が生まれるのには、お母さんだけじゃなくて、お父さんや兄弟、助産師の人など、とてもいろいろな人が関わり、助けてもらって生まれるのだと分かった。おなかの中からでも、苦しい、助けて、とサインを出せると初めて知った。お互いに対等で、色々な意見を言い合えるような関係が良い関係だと分かった。人が生きていくのにはとてもたくさんものがあるけれど、愛情も必要だというのが実験結果からでも出ているということを初めて知った。

・「性」という字は「心が生きる」という意味があり、いい考え方だと思った。助産師さんの仕事は、母になる人、そして赤ちゃんに関わって支えることのできるとても素晴らしい仕事だと思った。母は苦しい思いをして産んでくれたというのはとてもありがたく思った。そして母もおばあちゃんから生まれてきて、そのおばあちゃんもひいおばあちゃんから生まれていて、誰か一人でも欠けていたら今の自分はなかったと思うと、今の家族を大切にしていこうと思った。一つの命を産むために、その周りのすべての人が関わっていて、その周りの人の期待、応援に励まされて頑張れるのではないかと思う。

・思春期の話では、今私たちの時期に必要な大切なことを教えていただき、覚えておきたいことがたくさんありました。特に赤ちゃんを育てるにおいて考えなければいけないことは覚えておきたいと思います。また、心の話では、自分をコントロールするにあたって、想像力と忍耐力が必要だと教えていただきました。これは私に足りないところがあると思うので、意識して生活していきたいと思います。そして、愛情、愛のことも忘れずに生活していきたいと思います。そのためにも、部活や学校生活などで多くの人と関わり、コミュニケーションが取れるようになればいいなと思いました。

・今日の講演を聞いて一番印象に残っていることは、今の自分がいるのはたくさんの人たちの支えや、父親、母親がいてのことで、決して当たり前のことではないということです。以前母親に、自分を産んだ時のことを聞いたことがありました。その時母親はとにかく痛かったといっていました。その痛さも助

産師のサポートや、父親の支えによって少しはマシになっていたのかなと思うと、助産師はとても素晴らしい仕事だなと感じました。次に印象に残っていることは、自分らしく生きることは大切だということです。今、自分は自分らしく生きているかと聞かれたら、自信を持って、「はい」と答えられないと思います。自分らしく生きることができるようたくさんの人との関わりを大切にしていきたいと思いました。

・新しく生まれてくる命はとても素晴らしいものだと思再認識しました。自分たちがこうして生まれてきて出会うというのはとても低確率なんだと、大事にしなければならないと思いました。ただでさえ生まれるのに男女の2人が協力する必要があるのに、そこから様々な人の助けが必要で、欠けると生まれないと考えると、偶然だとしてもすごいことだと思います。そして生まれてからも、環境、人、愛情なども、自分が育つのに必要で、これがすべて整ったことで初めて生まれたといえるのではないかと思います。これからまだ成長していく中で、これらのことを用意してくれた人たちに感謝していくのが大事だと思いました。もっと周りのことを考えて、この環境が二度と来ないものだからという重要性を理解して生活していこうと思いました。

・自分が生まれた瞬間を思い出すことはできないし、もう一度体感することはできないけれど、今日の講演を聞いて、お母さんは私を産むのに本当に苦労したんだと感じることができました。命の大切さについて、小学校の時から講演を聞いてきたけれど、高校生という年齢になって改めて話を聞き、考え直してみると、自分がすることや発言する言葉にもっと責任を感じるべきだと思いました。これは、これからもっと大切になってくる考え方だと思うので、高校生の今だからこそもっと深く考えるべきだと思いました。赤ちゃんは命が1つしかなくて、その1つの命をどう考えるか、どう対応していくか、もし自分が赤ちゃんを育てる側になったら、もう一度考えたいです。高校生でこの話を聞いて、これから大人になるにつれての進路の考え方も見直し、将来につなげていきたいと思っています。自分を好きになる、という話は、一番心に深く残りました。これから人生を素晴らしくしていくために、自分を好きになることが重要だとよくわかりました。

・出産をするときには産む本人だけではなく周りの人たちの支えがとても重要なんだと感じた。自分たち一人一人がだれかの支えを受けて応援されて今を生きているんだということを知り、自分の命は自分だけのものではないんだということを改めて感じるすることができました。また思春期の特徴をととても分かりやすく説明していただいたので、自分だけが悩みを抱えているのではなく、周りの人たちもみんなそれぞれの悩みを持っているんだということを知ることができ、不安が解消されました。これからは悩みができたら一人で抱え込まず、周りに相談し、周りの人の支えがあって今を生きているということに自覚しながら生活していこうと思います。

・1つ1つのお話に心に來るものがとてもありました。出産するときの映像を見て、ドラマとちがってお母さんが助産師さんにすがりついたり、本当に苦し

そんな顔をして頑張っているのを見て、感動したし、応援したい気持ちになりました。出産の際に応援してくれる人がそばにいたらどれだけ心強いのか、そして写真でも見た通り、お父さんがずっと何も言わず手を握っているのに深く感動しました。性教育に関して、引きぎみの自分がいたのですが、自分を大切にすることが大事だと改めてわかりました。一番印象深かったのは、助産師の田口先生が実際に脳梗塞になって体がうまく動かさなくて、死にたいと思っただけなのに、友人の1つの電話で立ち直ったのは本当にすごいと思いました。私もすっかり、自分を大切にしたい、人に頼りたいときはしっかり頼って生きていこうと思いました。

・助産師という仕事は「産むまで」をサポートするものだと思っていたけど、「産んでから」もサポートしてくれるんだと知って、少し安心しました。将来、自分が子供を産むことがあっても、安心だと思いました。田口先生が「赤ちゃんが生まれる日を選んでいよう」とおっしゃっていて、すごく神秘的だなと思いました。赤ちゃんが生まれる、いのちが生まれるって本当に奇跡なんだと思いました。1人目の子どもを産むときは12～15時間痛くて苦しい時を過ごすのはすごく大変なのに、産んだ後のお母さんは笑顔で幸せそうで、うらやましいと思いました。中絶とか里親とか、悲しいとは思っていたけどそこまで深く考えていなくて、今回の講演で本当に、本当に悲しいことなんだと学びました。助産師さんのしゃべり方がすごく優しくて安心する声だと思いました。「いつ命がなくなるか分からない」とおっしゃっていたのが印象的で、少し怖くなりました。だけど同時に今日を大切にしよう、今を大切にしようと思いました。

・今日の講演で、命の大切さというものを改めて学びました。自分は男だから出産などには関係がないという今までの考えが変わりました。新しい命が誕生するということと、今自分たちがここにいることの尊さを学ぶことができ、大人になることへの道をまた一歩踏み出せたように思います。思春期のことについても教えてくださり、自分に当てはまることも多くあったので、これから気を付けていこうと思いました。今彼女はいないし、今までも一度もできたことのない僕ですが、だからこそ、もし彼女ができた時は、自分も相手もお互いを大切にしようと思います。

・命は自分だけのものではない。命は生まれるまで、父と母が出会い愛し合いそして私がいる。きっとそれ以上に私が知らない人も関わっていると思う。だから自分の命だからといって自分勝手に命の先を決めてはいけない。私は持病があって小中学生の時、部活を休んだり学校を休むということが何度かあった。治ってもまた再発して、なんで自分はこんな体なんやろ、何で自分だけ、って思うことがあって、死にたいって思って号泣して親も泣かせました。その時に私は自分のことを思って泣いてくれる人がいると分かって今さらでしたけれど、生きようって思いました。だから命というのはものではなくて生きてるんだと思いました。一生懸命産んでくれた母、それに関わった人々、その人たちに感謝して生きていこうと思います。私も母親になった時子どもをいっぱいいっぱい愛したいなあ。その子が生きててよかったなって思えるように産んで、育てて、学んで、共に生きていきたいなと思いました。